

やよい きみょう ～弥生時代の奇妙なお墓～

年 組 名前

弥生時代の後半以降には、中国山地や日本海沿岸部で、四隅突出型墳丘墓とよばれる独特な形をした墓が造られるようになりました。



復元された大城遺跡

出土した管玉



墓にそなえられた品物です。緑色の石を使って、ちくわのように真ん中に穴が開いています。ひもを通して首かざりにしました。

Challenge



- ① 右の写真は「大城遺跡」で見つかった弥生時代の終わりごろに築かれたお墓です。少し変わった形をしていますね？気付いたことを書いてみましょう！



弥生時代の墓で、「墳丘墓」といいます。

発掘された大城遺跡の四隅突出型墳丘墓

- 四角い形をしている。
- 隅が突き出ている。
- 墓の上が平らで広がっている。
- 一人が入る墓にしては、とても大きい。
- 周りにだけ石が敷きつめられている。



- ② このお墓にはどんな人が埋葬されたのでしょうか？

- たくさんの人を働かせる力を持った人。
- お金をたくさん持っていた人。
- 隠岐地方の王。

コラム

各地に大きな力を持った「豪族」が出現してきました。

大城遺跡では、隠岐唯一の四隅突出型墳丘墓が発見されました。約18m×10m程の大きさです。墓からは、王のアクセサリーと考えられる玉などが見つかりました。

